

令和2年度  
学校評価アンケート結果



高知県立須崎総合高等学校  
令和2年12月実施

## はじめに

学校評価は、学校の自主性・自律性を図る目標を掲げ、生徒、保護者や地域の信頼にこたえ、学校・家庭・地域と連携協力し、実情にあった「特色ある学校づくり」や「開かれた学校づくり」を目指し、その結果を総合的に分析し、今後の学校運営に反映させていく方策を探る資料とするものです。

本校での評価方法は、内部評価（生徒・教職員）と関係者（保護者・開かれた学校づくり推進委員）評価とし、アンケートの内容については、「開かれた学校推進委員会（今年度は書面開催）」で検討し、承認をいただいたうえで、実施しています。

実施方法については、生徒はロングホーム等を活用、保護者はお子様便、教職員には期限を設けて、地域（開かれた学校づくり推進委員）には郵送便により実施いたしました。

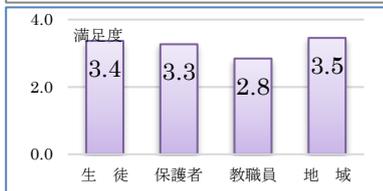
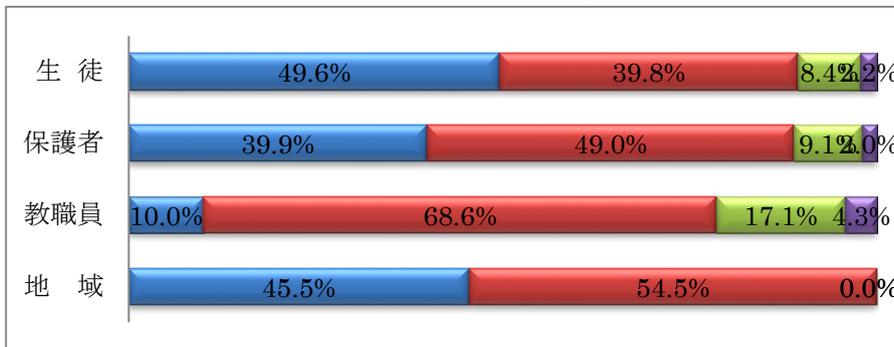
回収率は、生徒98.5%、教職員100%、保護者97.4%、開かれた学校づくり推進委員100%となっております。

## 学校評価アンケートの結果及び考察

（ ）内の%値は、令和元年度の肯定的な回答を表示

■①そう思う ■②ややそう思う ■③あまりそう思わない ■④そう思わない

### 1 学校生活は楽しく満足していますか。

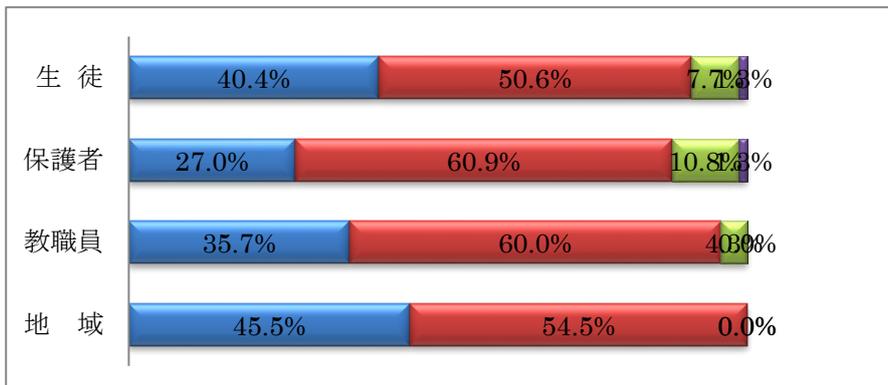


「あなたは学校生活が楽しく、満足していますか。」の問いに、肯定的に回答した生徒は89.4%となっております。また、「子どもたちは、学校生活に満足していると思いますか。」の問いに肯定的な保護者は88.9%、教職員は78.6%となっております、いずれも、昨年度より増加しています。

学習、資格取得、部活動、学校行事などの学校生活の総合的な評価であり、生徒の「満足度3.5以上」または「肯定的な回答90%以上」の目標まであと少しです。

(生徒86.4%、保護者86.3%、教職員76.3%、地域100%)

### 2 先生は わかりやすい授業に努めていますか。

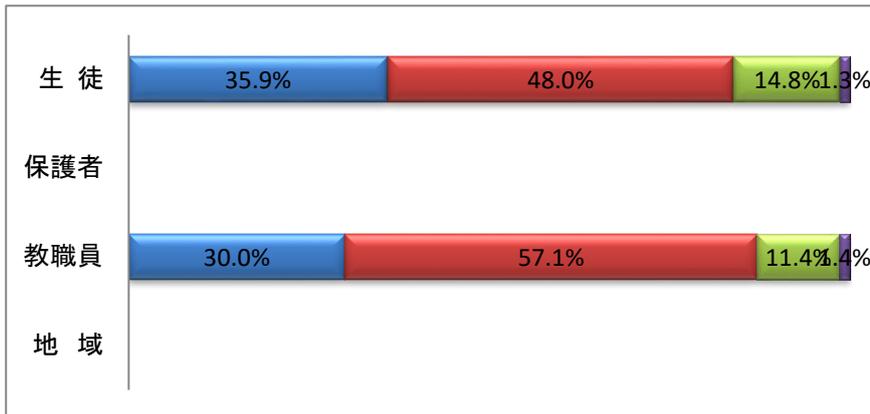


生徒、保護者、教職員、地域ともに80%を超える肯定的な回答を得ました。特に生徒の回答は、昨年度より10%近く向上しており、「生徒にとってわかりやすい授業」は一定評価されている結果ととらえることができます。

近年は、ICTを活用した「わかりやすい」授業やグループワークを取り入れた「考えて表現する」授業をそれぞれ創意工夫しながら展開していますが、今後も教員は時代の変化に応じて、授業改善に努めていく必要があると考えられます。

(生徒82.6%、保護者84.6%、教職員95.9%、地域100%)

3 授業の中で学習のねらいや目標が示されていますか。

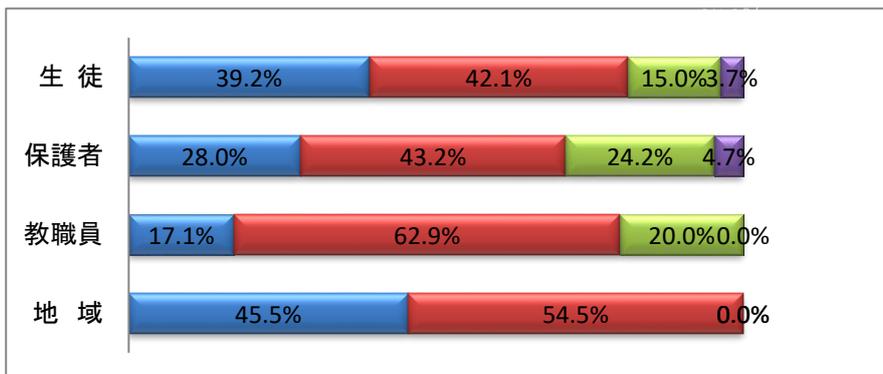


「授業の中で学習のねらいや目標が示されている。」との肯定的な回答が8割以上得られました。昨年度は生徒の肯定的な回答は8割に届かず、生徒と教職員の肯定的な回答に差がありましたが、今年度は、改善されました。

授業を進めていく中で「学習のねらい」を明確に提示し、学習内容の目標を立てて授業に臨むことが、これからも大切であると考えています。

(生徒77.4%、教職員86.3%)

4 夢や目標を持って学校生活を送っていますか。

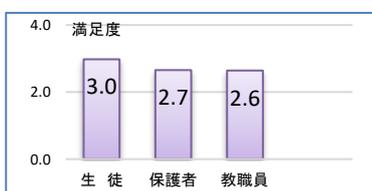
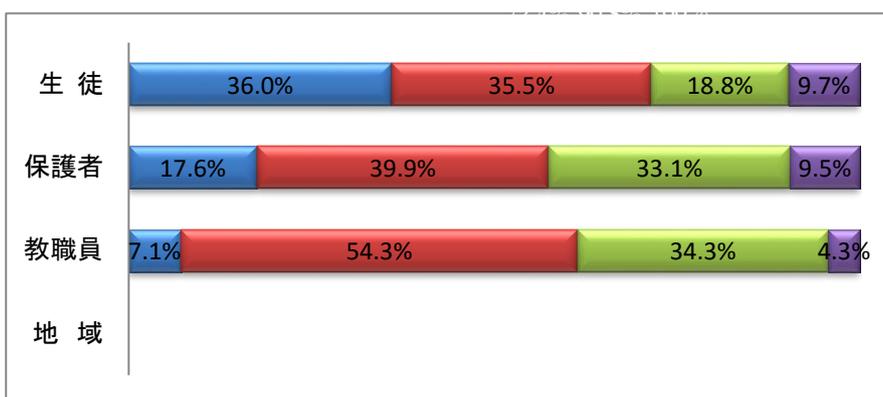


肯定的な回答が、教職員、生徒ともに8割以上となり、昨年度より向上しました。保護者の方が思われている以上に、生徒たちは夢や目標を持って学校生活を送っているという結果となっています。目標を持つことで学校生活の過ごし方が変わり、充実度が向上すると思います。

これからも、早い段階で目標を持つ意義を考えさせる機会を増やし、目標を持たせる工夫に努めていきたいと考えています。

(生徒76.2%、保護者71.9%、教職員78.8%、地域100%)

5 悩みや困ったことについて先生に相談していますか。



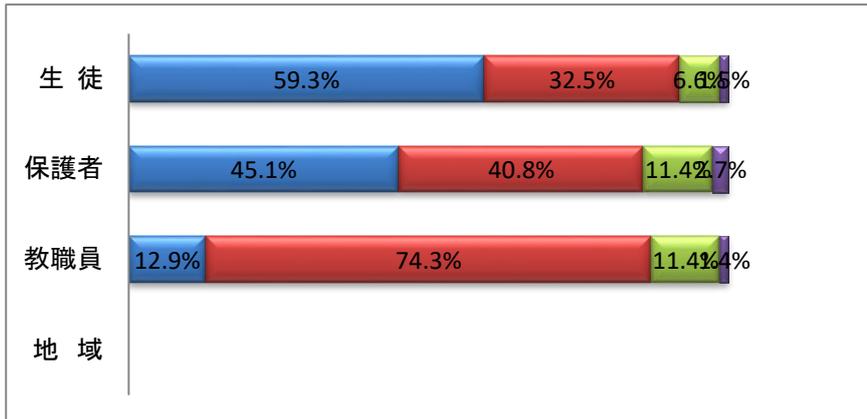
生徒の肯定的な回答が、昨年度から増加し、7割を超えました。

研修等により、カウンセリングマインド(コミュニケーションにおいて、相手の立場に立って理解しようとする態度のこと)を身につけた教員が増えつつあります

なお一層生徒が気軽に相談できる雰囲気づくりを推し進め、相談内容によっては、SCやSSWとも連携し、教育相談の充実に努めていきたいと考えています。

(生徒65.5%、保護者50.8%、教職員66.3%)

6 自分のクラスが楽しいですか。

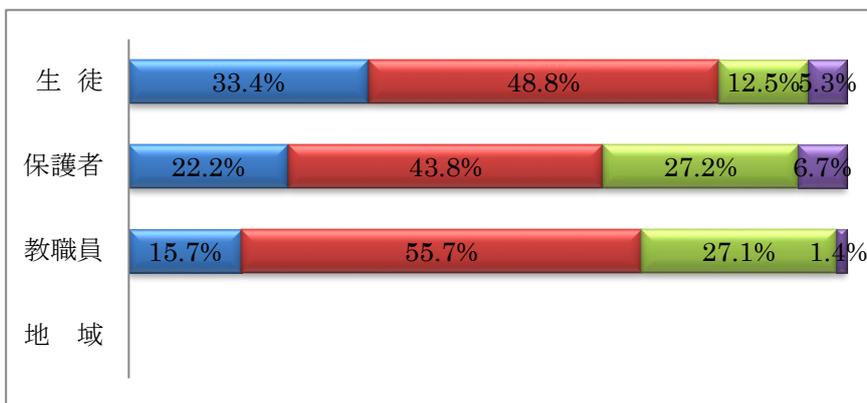


昨年度より肯定的な回答が増えています。生徒の肯定的な回答は、9割を超えました。クラスの友人との学校生活において、自分の存在感や充実感を感じることができる人間関係や生活環境がおおむね整っていると推察することができます。

集団生活を営むうえで道徳教育や人権教育を意識し、関連させながら自己の存在感や充実感を感じ取ることができるような雰囲気づくりをさらに推し進めていく必要性があると考えています。

(生徒 88.4%、保護者 85.0%、教職員 87.0%)

7 学校からの連絡や情報を積極的に家庭に伝えていますか。



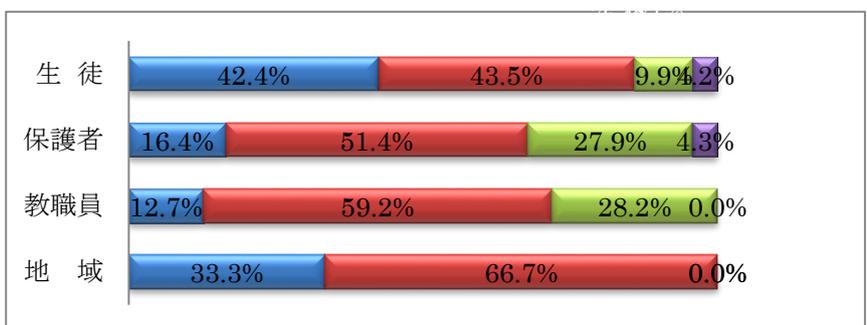
生徒の肯定的な回答は、昨年度から増加し、8割を超えましたが、保護者については、少し減少しています。

学校からの連絡や情報が家庭にうまく伝わっていない現状もありますが、ICT等（さくら連絡網の導入が決まりました。）も活用しながら、改善に努めたいと考えています。

また、教職員は、情報の一方通行に注意しながら、より積極的に情報を伝えるよう努めていきます。

(生徒 74.0%、保護者 67.2%、教職員 66.6%)

8 学校や先生は意見を聞いてくれますか。（学校運営に反映していますか。）



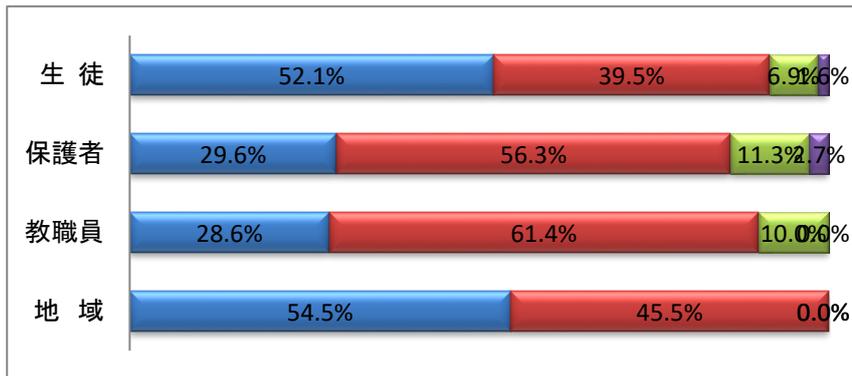
昨年度とほぼ同様の結果です。

生徒については、肯定的な回答が8割を超えています。保護者と教職員については、7割前後と低調な回答結果となっています。

すべてのご意見を学校運営に反映させることは難しいかもしれませんが、「開かれた学校づくり推進委員会」等の場で協議する等、よりよい学校運営となるように努めていきます。

(生徒 81.7%、保護者 65.3%、教職員 74.4%、地域 90.0%)

9 ホーム担任の正副担任制(普通科は複数担任制)は、きめ細かな指導ができていますか。



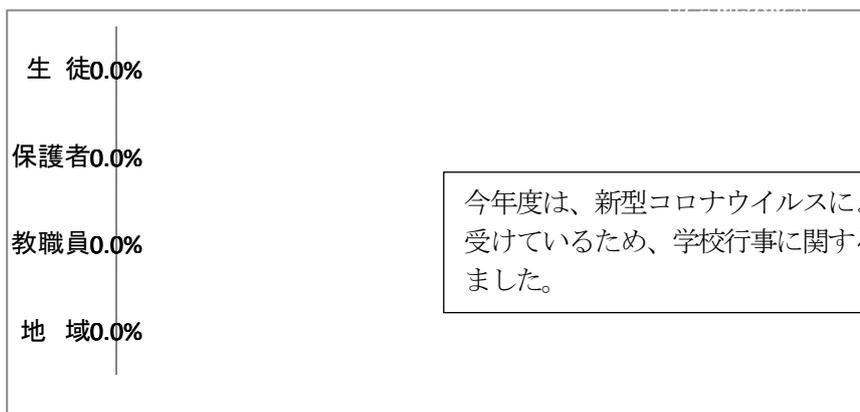
正副担任制(普通科は今年度、複数担任制)を導入し、一人ではなく複数でホームの運営や生徒の指導に当たることができるような体制としました。

生徒、保護者とも肯定的な回答が昨年度より増加しており、一定の評価をいただいているようです。

今後も、一人の生徒を多くの教職員で支え、よりきめ細かな指導ができるように努めていきます。

(生徒87.9%、保護者81.3%、教職員89.6%、地域100%)

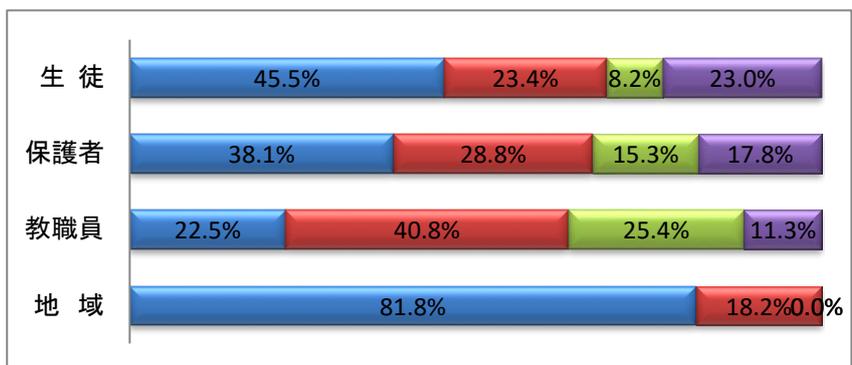
10 学校行事は楽しく充実していますか。



今年度は、新型コロナウイルスにより学校行事の実施が制約を受けているため、学校行事に関する設問は除外させていただきました。



11 部活動に積極的に取り組んでいますか。



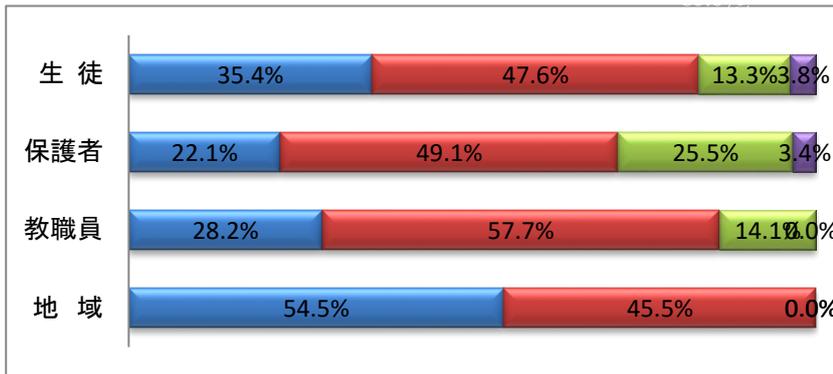
今年度は、新型コロナウイルスにより、練習時間や活動内容が制約を受け、感染対策に気を配りながらの活動となりました。

コロナ禍の中、カヌー一部と空手道部、将棋部(囲碁で出場)が四国大会に出場し、書道部と写真部の生徒が県の高文祭で奨励賞を受賞するなどの成果もありました。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し、通常の活動ができることを願っております。

(生徒67.8%、保護者70.1%、教職員73.9%、地域100%)

12 学校は教育方針・教育目標に向けた取り組みをしていますか。

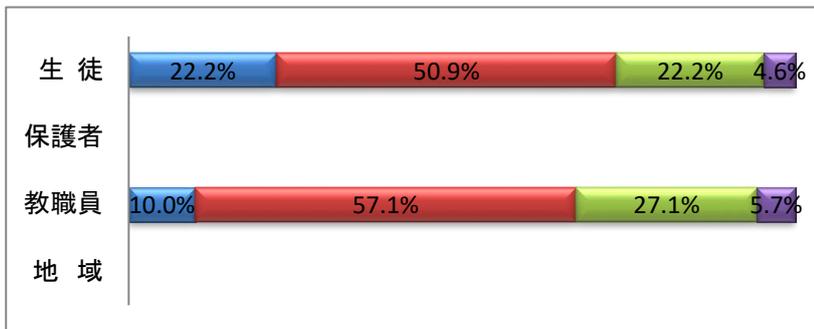


保護者の肯定的な回答は、昨年度より減少していますが、生徒の肯定的な回答は増加し、8割を超えました。学校は教育目標を改めて意識し、努力を続ける必要があると思われます。

「学校生活は楽しく満足しているか。」との問と同じく、学習、資格取得、部活動、学校行事、進路保障の充実などの総合的な評価であり、生徒・保護者の「満足度を3.5以上」または「肯定的な回答90%以上」を目標とした取り組みに努める必要があると考えています。

(生徒76.3%、保護者75.7%、教職員85.8%、地域100%)

13 Can-Do リストを意識した学校生活を送れていますか。



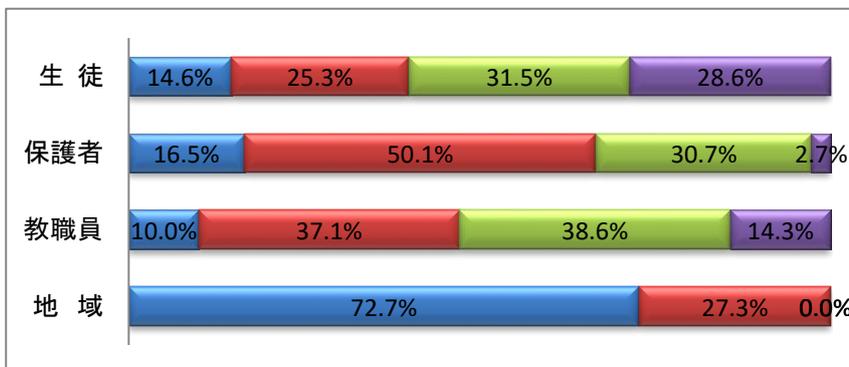
生徒、教職員ともに肯定的な回答が昨年度より増加しています。

今年度は、コロナ禍の影響もあり、新入生に対する挨拶指導が十分できませんでしたが、今後も学校の良さである「挨拶ができる」を進めていきます。

Can-Do リストに基づき「生徒につけさせたい力」を具体的に示し、成長を促す取り組みです。LHやSH、学校生活全体を通し、早い段階で意識し、社会人基礎力につながるよう努めなければならないと考えています。

(生徒63.6%、教職員62.7%)

14 地域貢献やボランティア活動等、積極的に参加していますか。



学校はものづくりや防災教育をととして地域・社会に貢献できる人材育成を目指し、地域行事や自治体主催の防災訓練等、積極的に参加していくよう進めてきました。

しかし、今年度はコロナ禍で様々な活動が中止となり、参加機会が激減したこともあり、生徒の肯定的な回答が、昨年度を下回りました。

新型コロナウイルスにより、人とのつながりまで、絶たれないようにICTの活用等、工夫が求められています。

(生徒48.1%、保護者74.4%、教職員54.6%、地域100%)

15 これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか。

	1 位	2 位	3 位
生徒	わかりやすい授業	学校行事や部活動の充実	進学・就職希望にこたえる教育
保護者	進学・就職希望にこたえる教育	わかりやすい授業	社会のルールや決まりの指導
教職員	社会のルールや決まりの指導	進学・就職希望にこたえる教育	教職員の資質・指導力の向上
地域	進学・就職希望にこたえる教育	わかりやすい授業	教職員の資質・指導力の向上 社会のルールや決まりの指導 道徳教育や人権教育

「わかりやすい授業」は生徒の1位で、保護者・地域とも2位に位置しております。問2の結果を見ると、一定の評価は得られていますが、今後もICTの活用等、さらに授業研究を進めることが必要であることを認識しています。（学力向上）

「進学・就職希望にこたえる教育」が保護者、地域で、いずれも1位でした。教職員で2位、生徒でも3位と、上位に位置しています。学校は全員の進路保障達成を目標に取り組んでいます。目標達成と維持が最も重要で大きな目標であることを認識するとともに、卒業生の進路先での動向も見守っていきます。（進路保障）

「社会のルールや決まりの指導」が、教職員で1位、保護者と地域で3位でした。多くの生徒はルールや決まりの大切さを理解しています。学校だけではなく、家庭、地域との連携を深め、生徒を社会、地域ぐるみで見守っていく必要があります。（基本的生活習慣）

「学校行事や部活動の充実」は、生徒で2位と上位に入っています。今年度は、新型コロナウイルスにより、学校行事や部活動が制約を受けましたが、これからも生徒や地域の方々の様々なニーズを聞き、生徒の健全育成を目指してより一層充実させていきます。（部活動の活性化）

## おわりに

本年度実施した学校評価アンケートで、生徒、保護者、地域、教職員の意見集約ができました。この結果を次年度以降の学校教育活動に活かしてまいりたいと思います。今年度は、新型コロナウイルス感染症のため、様々な活動が制約を受けましたが、より良い学校づくりのためには、今後も、学校関係機関等や地域との連携・協力の推進が必要不可欠です。皆様からいただいた自由記述のお言葉にも耳を傾け、今後の学校づくりに活かしていけるよう努めてまいります。

来年度は高知県立須崎総合高等学校が開校して3年目となります。地域の方々との連携をさらに深め、ご意見をいただき、地域とともに歩み、地域から愛される学校づくりを目指していきたいと考えていますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。